

「冬の体験活動 in はなやま」

- 趣旨** 国立青少年教育機構の各施設において経済的に困窮した家庭の子供を対象に自然体験等の活動を通じた「生活・自立」を支援する取組を行い、子供達の基本的な生活習慣の確立や自立する力を身に付けることを目指す。
- 主催** 独立行政法人国立青少年機構 国立花山青少年自然の家
- 事業の概要** 宮城県内の児童養護施設に在籍する小中学生20名程度

	参加者	開催日時
①	小学生2名・引率1名	平成29年1月27日(金)～28日(土)
②	小学生7名・高校生3名・引率2名	平成29年1月27日(金)～29日(日)
③	小学生16名・引率3名	平成29年2月3日(金)～5日(日)
④	小学生9名・引率2名	平成29年2月25日(土)～26日(日)

4. 企画・運営のポイント

- 「宿泊体験」を通して「早寝・早起き・朝ごはん」を意識させ、基本的な生活習慣の育成を図る。
- 子供たちに自然体験やスポーツを身近に感じさせ、体力づくりの一助とする。
- 料理体験を通して、防災意識を養う。
- 人との交流をとおして、人と関わる力を培い、自立心を養う。

5. 日程 《活動プログラム例》

	午前			午後			夜間				
1日目							受付	夕食	オリエンテーション	入浴	消灯
1/21(土)	起床	朝食	移動	冬の体験活動① スキー体験	昼食	冬の体験活動② スキー体験	夕べのつどい	夕食	自由時間	入浴	消灯
	起床	朝食	部屋点検	冬の体験活動③ 雪あそび	退所						

※連携団体のニュースに合わせた活動プログラムとする
 ※実施期間は原則2泊3日とするが、それ以外の場合は相談に応じる

6. 主な活動



【スキー体験】



【午後からはリフトに乗りました】



【花山でソリ滑り】



【自由時間はプレイホールで運動】

7. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果（全体参加人数37名）

満足：32名（86%）やや満足：5名（14%）やや不満：0名（0%）不満：0名（0%）

(2) 参加者の声

<参加者より>

- ・とてもスキーは怖いけどなれたら楽しい
- ・花山は寒い
- ・楽しさに気づいた
- ・思い出の一つができた
- ・スキーは楽しかった
- ・スキーは最初すべれなかったけれど、あとから上手になった。
- ・スキーは難しい
- ・もっと、そりとか頑張りたい。
- ・努力するという事
- ・遊ぶ時間を増やしてほしい。
- ・ご飯がおいしかった（2名）
- ・楽しかったです。（5名）
- ・スキーが楽しい（3名）
- ・また行きたい
- ・また、そりをやるときはうまくしたい

<連携施設職員より>

- ・プログラムの活動中、個々の子どもの笑顔や表情がとてもよかった。「またやってみたい」という言葉が聞かれた。
- ・昨年に引き続きのスキーなので上達が早くリフトにも全員の乗ることができた。
- ・うまく滑れない児童に対して花山の職員の方々に丁寧に指導していただいた。

(3) 成果

- ・キャンプ中は、朝6時30分起床、7時15分朝のつどい、7時30分朝食、夜21時就寝の生活をし、早寝・早起き・朝ごはんの実践を通して生活習慣を見直すきっかけとした。
- ・朝・夕のつどいや他団体とすれ違った際などにあいさつをする場面が多くみられた。

(4) 課題

- ・スキー体験は非常に評価が高いが、やはり3日目の朝食や昼食に調理体験を計画し、スーパーで食材の買い物などを体験させ、実際に調理させたい。
- ・今後は各施設で子どもゆめ基金を活用して活動できるように促した。